

平成 30 年度 地質調査技士資格検定試験 受験願書

「土壌・地下水汚染部門」

| | | | | | |
|---|---|---|--------|-----------|--------------------------------|
| 受 験 地 | | 地区協会 理事長印 | ※ | 受験 番号 | ※土壌・地下水汚染部門 |
| <p>私は地質調査技士資格検定試験を受験いたしたく地質調査技士資格検定試験規程第 6 条に基づき写真及び関係書類を添えて申し込みます。</p> <p style="text-align: center;">平成 30 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏名 (印)</p> <p style="text-align: center;">一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿</p> | | | | | |
| ふりがな 1.氏 名 | | 男 女 | 年 令 | 試験日で 才 | 昭和 平成 年 月 日生 |
| 2.現住所 および 電話番号 | (〒 -) 都道 府県 ----- TEL () - ----- | | | | |
| 3. 所属機関 (現在所属している会社について記入して下さい) | | | | | |
| 名称 | (〒 -) | | | 登録 番号 | (地質調査業者登録をしている場合) 質 - |
| ※直接に雇用契約を結ぶ会社について記入して下さい (いわゆる親会社の記入は不可) | | | | 住所 | 電話 () - |
| 4. 学 歴 | | | | | |
| 最 終 学 歴 | 学校名 学 部 学科名等 | | | | 卒業年月 昭和・平成 年 月 卒 |
| ※最終学歴が大学院、または、学校教育法における学校(中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校等)以外の場合、最終学歴の一つ前の学歴も記入して下さい。 | | | | | 卒業年月 昭和・平成 年 月 卒 |
| | | 振込手続日 月 日 振込依頼人名 (受験者名と異なる場合、記入して下さい) 複数名分まとめて振込んだ場合は、該当する受験者名を次に記入して下さい。 (受験者名:) | | | |

- ・受験の手引き(3頁～)をよく確認の上、記入して下さい(※印欄は記入しないこと)。
- ・年号はすべて和暦で記入して下さい
- ・受験願書類はクリップで留めた上、提出して下さい。

| | | |
|-------------------------------------|---|-------------|
| 9. 実務経験年数 | 満 年 カ月 | ※ 満 年 カ月 |
| 10. 主として従事した業務 (○で囲んで下さい) | 現場管理、技術管理、調査・計測・試験、同結果の評価・考察、柱状図及び断面図の作成、報告書の作成、報告書の照査 その他 () | |
| 11. 地質調査技士登録番号 | 第 号 (当初登録年月日 年 月 日) | |

本願書の勤務経歴、実務経歴等については事実と相違ないことを証明します。

[承認機関] 住 所
 電 話
 名 称
 代表者氏名 ㊟

[承認機関] 住 所
 電 話
 名 称
 代表者氏名 ㊟

[承認機関] 住 所
 電 話
 名 称
 代表者氏名 ㊟

平成 30 年度 地質調査技士資格検定試験

「土壌・地下水汚染部門」

受験写真票

| | | | |
|------------|--------|------|-----|
| 受験番号 | ※ | 受験地 | |
| ふりがな 氏名 | | | 男・女 |
| 生年月日 | 年 月 日生 | 試験日で | 才 |

| |
|---------------|
| 写真貼付 |
| 撮影日 H30 年 月 日 |


| |
|------|
| ※確認覧 |
|------|

〔受験願書記載例〕

平成30年度 地質調査技士資格検定試験 受験願書

注：受験地は、願書受理後、変更できません。慎重に選択・記入して下さい。

「土壌・地下水汚染部門」

| | | | | | |
|--|---|---|--------|--------------|--|
| 受験地 | 福岡 | 地区協会 理事長印 | ※ | 受験 番号 | ※土壌・地下水汚染部門 |
| 私は地質調査技士資格検定試験を受験いたしたく地質調査技士資格検定試験規程第6条に基づき写真及び関係書類を添えて申し込みます。 平成30年 5月 1日 氏名 麻生 次郎  一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿 | | | | | |
| ふりがな 1.氏名 | あそう じろう 麻生 次郎 | <input checked="" type="radio"/> 男 女 | 年 令 | 試験日で 27 才 | 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 3年 5月 11 日生 |
| 2.現住所 および 電話番号 | (〒999-9999) 福岡 都道 飯塚市 麻生 本町 1-1 太郎ハウス 101号 TEL (0999) 99-1234 | | | | |
| 3.所属機関 (現在所属している会社について記入して下さい) | | | | | |
| 名称 | 九州国土調査株式会社 ※直接に雇用契約を結ぶ会社について記入して下さい (いわゆる親会社の記入は不可) | | | 登録 番号 | (地質調査業者登録をしている場合) 質 22-1234 |
| 住所 | (〒998-0001) 福岡県飯塚市母田山 1-100 | | | 電話 | (0999) 98-1234 |
| 4.学歴 | | | | | |
| 最終 学歴 | 学校名 学部 学科名等 | 昭和平成大学 理工学部 土木工学科 | | | 卒業年月 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 26年 3月 卒 |
| ※最終学歴が大学院、または、学校教育法における学校(中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校)以外の場合、最終学歴の一つ前の学歴も記入して下さい。 学校名 学部名 学科名等 | | | | | 卒業年月 昭和・平成 年 月 卒 |
| 5.受験料振込 | 振込手続日 4月 27日 振込依頼人名 (受験者名と異なる場合、記入して下さい) 複数名分をまとめて振込んだ場合、該当する受験者名を次に記入して下さい。 (受験者名: 門建一郎、管理吾郎、花咲太郎 3名) | | | | |

- ・受験の手引き(3頁～)をよく確認の上、記入して下さい(※印欄は記入しないこと)。
- ・年号はすべて和暦で記入して下さい
- ・受験願書類はクリップで留めた上、提出して下さい。

| 6. 勤務経歴 | | | |
|--|---------------------------------|----------------------------------|------------|
| 期 間 | 勤務先名 (部課名まで記入して下さい) | 業 務 の 内 容 | |
| 26年 4月 1日から 29年 11月 30日まで | 関西調査株式会社 技術部 | 現場管理・技術管理他 | |
| 29年 12月 1日から 年 月 日まで | 九州国土調査株式会社 地盤技術部 | 現場管理・技術管理他 | |
| 年 月 日から 年 月 日まで | | | |
| 年 月 日から 年 月 日まで | | | |
| 年 月 日から 年 月 日まで | | | |
| 7. 講習会 (研修) 受講調べ | | | |
| 受 講 期 間 | 講習会名称・受講場所 | 修了書番号 | |
| 29年 9月 15日から 4日間 | 地盤環境調査基本研修 富士教育訓練センター | 112番 | |
| 30年 6月 10日から 日間 | 土壌・地下水汚染部門自己学習用サイト | 受講予定 | |
| 年 月 日から 日間 | | | |
| 年 月 日から 日間 | | | |
| 年 月 日から 日間 | | | |
| 注：受講調べに記入する講習会は、受験の手引きに記載する対象講習会のみです。 | | | |
| 8. 実務経歴 | | | |
| 調査期間 | ○囲み | 発注者(上段)及び調査名(下段) | 所属機関名(会社名) |
| 26年 5月 から 40日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 香川県 香川港地盤沈下観測調査 | 関西調査(株) |
| 26年 7月 から 30日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 高知県土地開発公社 自動車・自転車用道路整備工事地質調査 | 同上 |
| 26年 9月 から 20日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 徳島県農林開発事務所 ふるさと林道整備事業峰線法面調査設計 | 同上 |
| 26年 10月 から 40日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 日本高速道路公団 静岡工事事務所 磐田工区地質調査 | 同上 |
| 26年 12月 から 30日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 山口県教育委員会 大洋高等学校新築 | |
| 27年 2月 から 30日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 岡山市 市道123号線地 | |
| 27年 4月 から 25日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 島根県警察本部 浦田町警察署敷地造成工事ともなう地質調査 | 同上 |
| 注：実務経歴 記入のポイント ・年4～5件を目安に記入。 ・なお、勤務期間が長く、経歴が多い場合は、比較的最近の年次の経歴は2～3件/年程度、それ以前の年次は最低でも1件/年は記入。 ※記入件数が少ない場合、申告の経験年数を減ずるなどの措置をとり、受験資格の有無等を判断します。 | | | |

| | | | |
|------------------|---------------------------------|----------------------------------|---|
| 27年6月 から40日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 大田港工事事務所 | 関西調査(株) |
| | | 大田港高潮対策工事地質調査 | |
| 27年8月 から50日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 大都市基盤整備公団 | 同上 |
| | | 岡山県白鷺住宅地区井戸調査業務 | |
| 27年11月 から10日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 重油エンジニアリング(株) | 同上 |
| | | 備蓄タンク沈下測定業務 | |
| 28年1月 から50日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 国土交通省玉川工事事務所 | 同上 |
| | | 玉川浄水場地区高規格堤防土質調査 | |
| 28年2月 から20日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 青森県環境衛生部 | 同上 |
| | | 廃棄物最終処分場環 | 注：件名が工事名や設計名の場合、実施した地質調査業務の内容を、以下を参考にして書き加えてください。 |
| 28年4月 から20日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 東川総合開発工事事務所 | 同上 |
| | | 森山ダム建設工事（掘削残土や河川水の試料採取、汚染分析等を実施） | |
| 28年7月 から20日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 竹上工務店 | 同上 |
| | | 港区某エリア マンション建設に伴う土壌・地下水汚染調査 | |
| 28年9月 から10日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 東北地方整備局 | 同上 |
| | | 鶴亀山トンネル地質調査 | |
| 28年10月 から30日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 北東北電力株式会社 | 同上 |
| | | 片町原子力発電所3号機増設に伴う地質調査業務 | |
| 28年11月 から50日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 大東京エステート株式会社 | 同上 |
| | | 多摩地区土壌調査および浄化検討 | |
| 29年1月 から10日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 山形森林管理局 | 同上 |
| | | サララット地区地すべり調査設計 | |
| 29年3月 から20日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 東日本鉄道建設公団 | 同上 |
| | | 甲州新線246km付近地質調査 | |
| 29年5月 から70日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 大東亜石油株式会社 | 同上 |
| | | 某製油所内 土壌地下水採取・汚染分析業務 | |
| 29年7月 から20日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 福島県開発局 | 同上 |
| | | 福島盆地地下構造調査 | |
| 29年8月 から30日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 関東地方整備局 谷川事務所 | 同上 |
| | | 湯検菅川スーパー堤防調査設計業務 | |
| 29年10月 から20日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 四井不動産建設株式会社 | 同上 |
| | | 大阪府大阪市内 土壌ガス調査 | |
| 29年12月 から50日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 全国電信電話施設株式会社 | 九州国土調査(株) |
| | | 8号幹線鉄塔地質調査（その3） | |
| 30年3月 から20日間 | 調査・計測・試験 技術指導・管理 解析・報告書作成 | 大分県土地開発局 | 同上 |
| | | 宇佐地区双葉山エリア土地転用に伴う地歴調査業務 | |

| | | |
|------------------------------|---|--------|
| 9. 実務経験年数 | 注：実務経験年数は、土質試験室やサウンディングの実務経験期間は除いて記入します。その他、受験手引き（5頁㊸）を参照ください。 | |
| | 満 4年 1 ヵ月 | 満 年 ヵ月 |
| 10. 主として従事した業務 (○で囲んで下さい) | (現場管理)、(技術管理)、(調査・計測・試験)、(同結果の評価・考察)、柱状図及び断面図の作成、(報告書の作成)、報告書の照査 その他 (注：地質調査技士の資格を保有されている方（今回受験する以外の部門を保有の方）は、登録番号を記入してください。) | |
| 11. 地質調査技士登録番号 | 第 号 (当初登録年月日 年 月 日) | |

本願書の勤務経歴、実務経歴等については事実と相違ないことを証明します。

〔承認機関〕 住 所 兵庫県西宮市生瀬町1-1
 電 話 0797-12-3456
 名 称 関西調査株式会社
 代表者氏名 代 表 藤 原 糊 香 (代表之印) ㊸

〔承認機関〕 住 所 福岡県福岡市早良区千道1-1
 電 話 092-123-4567
 名 称 九州国土調査株式会社
 代表者氏名 社 長 浜 崎 歩 美 (代表之印) ㊸

〔承認機関〕 住 所
 電 話
 名 称
 代表者氏名 ㊸

次に該当する方は、受験手引き（6頁㊹）を確認の上、証明印を取りつけて下さい。

- ・受験者本人が組織等の代表の場合
- ・転職等により複数の機関に所属されていた方の場合

平成 30 年度地質調査技士資格検定試験

「土壌・地下水汚染部門」

受験写真票

| | | | |
|------------|------------------|-----|--------------|
| 受験番号 | ※ | 受験地 | 福岡 |
| ふりがな 氏名 | あそう じろう 麻生 次郎 | | Ⓐ 男 女 |
| 生年月日 | 平成 3 年 5 月 11 日生 | | 試験日で 27 才 |

